

平成20年度 水道事業会計事業報告

業務状況 (表①)

平成20年度においては、4月1日に鹿谷地区簡易水道を上水道に統合したことに伴い、給水人口、給水戸数、年間総配水量、年間有収水量について、前年度を上回る結果となりました。

一方、有収率は減少していますが、その要因は、老朽化による配水管からの漏水によるものと考えられます。

項目	業務量	前年度比
給水人口	2万3,396人	+ 8.77%
給水戸数	7,038戸	+ 8.90%
年間総配水量	309万2,251m ³	+ 6.49%
年間有収水量	247万8,573m ³	+ 3.52%
1日最大配水量	16,277m ³ (H20/8/11)	+12.77%
有収率	80.15%	- 2.79%
導送配水管延長	29万7,347.9m	+ 13.30%

財政状況 (表②)

本年度の総事業収益は3億5,790万9千円、総事業費用は3億5,432万2千円となりました。この結果、当年度は純利益358万7千円を計上する結果となりました。

一方、資本的収入は1億6,283万8千円、資本的支出は2億4,928万6千円となりました。この結果、86

区分	20年度決算額	19年度決算額
収入	3億5,790万9千円	3億1,277万3千円
支出	3億5,432万2千円	3億2,936万7千円
差引	358万7千円	- 1,659万4千円

区分	20年度決算額	19年度決算額
収入	1億6,283万8千円	2億5,011万1千円
支出	2億4,928万6千円	4億1,807万8千円
差引	-8,644万8千円	-1億6,796万7千円

総括事項

毎年安心できれいな水道水の安定供給を図りながら、勝山市水道事業の健全な財政基盤の確立に努めています。

主な収入である水道料金収入は、従前の上水道区域における給水人口の減少はあるものの、鹿谷地区簡易水道の上水道統合に伴い、対前年比3・5%の増収となりました。一方、支出においては、減価償却費や企業債の元

44万8千円の不足額は、過年度分損益勘定留保資金、当年度分損益勘定留保資金、当年度分消費税および地方消費税資本的収支調整額で補填しました。

金償還が増加し、経営は厳しい状況が続いています。

今後、清浄で安全な水の供給を図るため、既存水道施設の維持管理の充実を怠ることなく、また累増する企業債の元金償還に要する費用および減価償却費に対応し得る経営基盤の確立が必要と考えています。

現在、勝山市上下水道料金制度協議会において、水道事業および下水道事業（農業集落排水事業含む）の健全な経営のため、より適正な料金制度について検討しています。審議内容は、市ホームページで公開しておりますのでご覧ください。ご意見などございましたら事務局（上下水道課庶務・管理普及グループ）までお寄せください。

主な拡張事業

事業名 (工事名)	地 係	事業費 (工事費)
浄土寺川ダム事業負担金	170字奥山	4,238万4千円
勝山市水道ビジョン策定業務委託	元町1丁目ほか	543万9千円
主要地方道勝山丸岡線配水管布設工事	若猪野	272万4千円

主な改良事業

事業名 (工事名)	地 係	事業費 (工事費)
法恩寺雁が原水系連動改良工事	170字	939万8千円
新道細野口遠方監視制御装置復旧工事	荒土町新道ほか	388万5千円
主要地方道勝山丸岡線配水管布設替工事	昭和町1丁目	209万8千円

水道事業会計決算の詳細については、決算書を勝山市立図書館に備えてありますので、ご覧ください。

上下水道課 ☎88-8109
E-mail suidou2@city.katsuyama.fukui.jp

9月定例会市議会

6億1299万2千円増額の一般会計補正予算などを可決

9月定例会市議会が9月4日から24日までの日程で開会されました。山岸市長は招集のあいさつで、8月末で5万4千人の来場者を迎えた「はたや記念館ゆめおれ勝山」について、「過性の人気に終わることなく、魅力を発信し続ける施設としてまちなか誘客の拠点機能を高めていきたい。」と述べ、中心市街地の活力に繋げていく考えを示しました。また、平成23年度に策定する「第5次勝山市総合計画」について、「12月に全市民アンケートを行い、市議会総合計画特別委員会と情報の共有を図り、市民の意見や提案を積極的に反映していきたい。」と述べました。その他、年度内に防災ハザードマップを全戸配布する予定であることを発表しました。

予 算

一般会計は6億1299万2千円を増額し、総額を121億2799万円としました。

増額補正の主な内容は、国の平成21年度補正予算に伴う事業として、林道小原線・岩屋線の舗装工事、小中学校の教材備品整備、成器西小学校への太陽光発電設備設置、村岡小学校渡り廊下・勝山中部中学校第1体育館の耐震補強工事、勝山南部中学校の耐震補強工事および工コ改修などです。

特別会計は、国民健康保険、老人保健、後期高齢者医療、介護保険、市有林造成事業の補正が、いずれも可決されました。

企業会計は、水道事業の補正が可決されました。

条 例 等

- 勝山市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例の一部改正（北郷公民館での印鑑登録および証明事務を9月末まで廃止します）
- 勝山市国民健康保険条例の一部改正（10月から平成23年3月31日までに出産した場合の出産育児一時金が39



招集のあいさつを述べる山岸市長

万円になります)

そ の 他

- 工事請負契約の締結が可決
- 3つの陳情が趣旨採択、1つの陳情が継続審査となりました

委員の選任 (敬称略)

- 勝山市公平委員会委員の選任
林 キヨ子 (上高島)
- 勝山市固定資産評価審査委員会委員の選任
澤田 裕治 (遅羽町傍崎)

議長に村田與右工門議員 副議長に清水清蔵議員

9月24日の本会議において、笠松捷多朗議長が辞職し、村田與右工門副議長が議長に当選しました。

また、清水清蔵議員が副議長に当選しました。



清水清蔵副議長 村田與右工門議長

10月は3R推進月間

ごみを限りなく少なくし、環境への悪い影響を極力減らすことと、限りある地球の資源を有効に繰り返し使う社会 (=循環型社会) を創りましょう。

- Reduce (リデュース) ごみの発生抑制
- Reuse (リユース) 再利用
- Recycle (リサイクル) 再資源化

勝山の状況は

勝山市のごみの量は、1人1日あたり780g (県平均926g) と、県内で5番目に少なく、また、リサイクル率も29・5%と県平均(18・8%)を大きく上回っています。

しかし、近年はごみの量が増加し、リサイクル率も下がってきています。「もったいない」の精神を活かし、循環型社会を形成するため3Rにご協力を願います。

